

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 事業の予算執行

平成21年度予算の執行にあたっては、従来に引き続き効率的な予算執行と節約に努めました。経常的事業以外に、21年度に執行した新規事業の主なものは次のとおりです。

・大型機器（MS）更新	96,230 千円
・1号館屋上防水・外壁補修工事	50,360 千円
・1号館耐震診断費用	3,570 千円
・正門改修工事	36,020 千円
・如修塾外壁補修・屋上防水工事	19,970 千円
・如修塾タイルカーペット・カーテン更新	6,210 千円
・講義室AV化	9,030 千円
・実習用顕微鏡30台（更新3年目）	4,030 千円
・CBTデータベース・システム導入	11,780 千円
・薬学共用試験受験費用	8,310 千円
・CBT模擬試験受験料・基礎学力強化セミナー受講料	2,390 千円
・実務実習事前教育費	6,430 千円
・実務実習用備品他購入費	2,010 千円
・抗体検査・ツ反検査料（4年次生）	2,540 千円

他

#### 2. 法人会計決算

##### (1) 資金収支計算書（総括表）

収入面では、事業収入が予算額を下回りましたが、学部入学者数が277名と当初の想定を上回り、学生納付金収入・手数料収入・寄付金収入・補助金収入・資産運用収入・雑収入がそれぞれ見込み額を超えたことなどにより、総収入は4,408百万円と予算を446百万円上回りました。

また、支出面では退職金が見込み額を上回り、また、各種引当資金への積増し等も行い、さらに、神戸大学との連携による「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」（事業期間：平成21～23年度）の開発推進に係る支出増もありましたが、執行の見直しや経費節減に努めた結果、次年度繰越支払資金は対前年度比111百万円増の1,033百万円となった結果、前受金収入403百万円は十分カバーできる決算となりました。

##### (2) 消費収支計算書（総括表）

消費収支については、収入面では資金収支の内容を踏まえ、資金収入に現物寄付を加算計上した後、帰属収入から基本金組入額を控除し、支出面では資金支出に減価償却費等を加算しました。その結果、当年度の消費収支は374百万円の支出超過となり、前年度からの収入超過額1,359百万円が減少し、翌年度の繰越収入超過額は985百万円となりました。

##### (3) 貸借対照表

資産総額は、有形固定資産において減価償却の進捗があり、第2号基本金を含む諸引当資金の積増などを行った結果、合計では270百万円増加し、20,839百万円となる一方、負債総額は借入金の返却等から1,917百万円と減少し、期末純資産額（資産総額－負債総額）は前年度に比べ372百万円（2.0%）増の18,921百万円となりました。

### 3. 財務運営の状況

当法人の過去5年間（平成17年度～21年度）の財務運営の状況及び主要財務比率は以下のとおりです。

- (1) 財務運営の状況
  - ・資金収支の状況
  - ・消費収支の状況
  - ・貸借対照表
- (2) 財務比率表
- (3) 財産目録